

令和7年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

教育政策課

1 施設の概要等

施設名	府中市立図書館		
所在地	本館/府中市府中町43番地 上下分室/府中市上下町861番地3		
設置目的	市民の教養と文化の発展に寄与する		
施設・設備	図書館		
指定管理者	R4.4.1	～	R9.3.31 株式会社図書館流通センター

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	イベント参加者 数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)		
	R4	1,400 人	1,404 人	512 人	4 人	100.3%	
	R5	1,400 人	1,841 人	437 人	441 人	131.5%	
	R6	1,400 人	1,969 人	128 人	569 人	140.6%	
	R7	1,400 人	1,668 人	-301 人	268 人	119.1%	
	R8	1,400 人	人	人	人		
増減理由	主な要因として「赤ちゃんおはなし会」の読み聞かせが約100名近く減少。小学生となったお子様が「おはなし会」に参加となるが1/3程度の増員に留まったことに加え、「調べる学習講座」で約70名のイベント参加が無かったこと、「子供たちに絵本を読んでもみませんか」が令和7年度見送りにて、その分が実質マイナスとなり参加人数減となる。また、おはなしキャラバンも前年6回から4回に縮小したことが参加減少に繋がった捉える。						
利用状況	年度	目標値 [事業計画]	来館者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)		
	R4	45,000 人	45,355 人	8,471 人	355 人	100.8%	
	R5	45,000 人	46,871 人	1,516 人	1,871 人	104.2%	
	R6	45,000 人	47,220 人	349 人	2,220 人	104.9%	
	R7	69,000 人	78,349 人	31,129 人	9,349 人	113.5%	
	R8	69,000 人	人	人	人		
増減理由	令和7年度より、これまでのスタッフ手打ちカウントから自動カウントセンサー式に変更。本館来客者目標40,000人から160%増の64,000人+分室5,000人の合計69,000人へ変更としたが、結果は大幅プラスとなる。						

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】		【対象・人数】	
	館外イベントや館内講演会やイベントでのアンケート		講演会や講座、館外イベント参加者、保育所(園)などの	
			施設責任者/担当者など約200人	
	1F設置ご意見箱への投書			
	【主な意見】		【その対応状況】	
	講演・講座含め分野を問わず、地方図書館に来て貰えることは魅力的で、続けてほしいとの意見が多くあった。		恒例の講演などは継続できるよう願います。その他講演・講座も開催出来るよう取組みたい。	
	家庭菜園講座では「次はいつするのか」「ぜひ続けてほしい」など前向きな意見を多く頂戴した。		自宅の庭などで多くの方が野菜類を育てていることが分かった。開催する季節や時期など考慮し継続させる方針である。	

4 市の業務点検等の状況

項目					実績	備考	
報告書	年度				○	事業報告	
	月報				○	月次報告	
	日報(必要随時)				○		
管 理 運 営 会 議					【特記事項等】		
10 回 会場 府中市立図書館(本館)					・月報の報告を受け、施設に対する苦情や修繕箇所などの情報を共有した。		
現 地 調 査 (実 施 月)					【指定管理者の意見】		
月報の提出時に確認事項などを共有することができた。また、問題があれば、即時、市側と課題を共有し、対策に踏み切れる体制が取れている。							
1月	2月	3月	4月	5月	【市の対応】		
		○	○	○	・図書館運営協議会の実施(9月17日、3月16日の2回)		
6月	7月	8月	9月	10月	・労働条件チェック(6月〇〇日)		
○	○	○	○	○			
11月	12月						
○	○						

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	87,285			R4	48	
	R5	88,185	900		R5	93	45
	R6	87,285	-900		R6	48	-45
	R7	85,585	-1,700		R7	40	-8
	R8				R8		

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R6決算額	R7決算額	対前年度比	主な増減理由等	
委託事業	収入	市 委 託 料	87,285	85,585	-1,700	電子図書購入費削減分
		料 金 収 入	48	40	-8	
		そ の 他 収 入	34	0	-34	
		計 (A)	87,367	85,625	-1,742	
	支出	人 件 費	54,700	55,106	406	スタッフ+本社人件費
		光 熱 水 費	4,718	4,549	-169	
		建 物 管 理 料	5,115	5,215	100	
		清 掃 ・ 警 備 費 等	建物管理料に含む	建物管理料に含む	-	
		施 設 維 持 修 繕 費	建物管理料に含む	建物管理料に含む	-	
		事 務 局 費	18,306	16,043	-2,263	旅費交通費・リース料が予算の半分程度の使用に留まる
		そ の 他 支 出	5,353	5,403	50	消費税
		計(B)	88,192	86,316	-1,876	
	収支①(A-B)		-825	-691	134	
自主事業	収 入 (C)		0	0	0	
	支 出 (D)		0	0	0	
	収支②(C-D)		0	0	0	
合 計 収 支 (① + ②)		-825	-691	134		

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	①R7年度の目玉企画として、作家の東川篤哉さんをお招きし「作品がうまれるとき」と題し講演会を実施。他にも講演会や家庭菜園講座や展示会などを行う。 ②蔵書数増加に伴い、保存年限の変更や除籍候補の選定を行い、基準を設けそのルールに合わせ実施。 ③修繕項目は急対応を除き先送り気味となってしまうが、教育政策課とは事例毎に共有ができていた。 ④これまでの取組みを踏襲し活動を継続すると共に、館内が安心安全で各種災害が起こらない活動を徹底。	著名な作家の講演を開催するなど、指定管理者が全国展開している強みを活かした企画の開催が出来ている。蔵書の管理に関しても、増加の一途をたどっていた蔵書数が減少するなど、適切な除籍が行われている。

++

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	○企画展示類の評価が得にくいため、来館者が気軽に評価して頂ける環境を作る。 ○電子図書の認知向上と拡大にむけ、外部イベント等の参加に絡めた取組みの強化。 ○資料保存年限見直し実施後の、保存スペースと資料の再配置による閉架書庫の有効活用。 ○修繕箇所が徐々に増えて来ているため、優先度含め順序立てた修繕を行い設備機器の維持を年間通し行う。	イベント参加者が目標値は達成しているものの対前年度比で減少しているため、来館者だけではなく、魅力のある企画を実施し、主催イベントに多くの人が参加するような取り組みを行ってほしい。